

イエスは 生きて

日本クリスチャン・アシュラム連盟



日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 119

見ないで信じること



白川 鄭二

ヨハネ福音書20章29節

復活のキリストを信じる者は永遠の命を受けると聖書が言っているが、それを素直に信じるのは困難である。イエスが死んで三日目の朝早く墓へ行った婦人たちは墓が空であると知った。彼女たちはそれを弟子たちに知らせたが、弟子たちはこの話しを「たわ言のように思い、信じなかった」(ルカ24:11)と。不信仰は誰にもある。しかし、聖書は弟子たちが復活の主の導きを受けて、信仰へと導かれて行った事情を詳しく述べている。ヨハネ20:24以下に疑い深いトマスが「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れて見なければ、また、この手をその脇腹に入れてみなければ、私は決して信じない」と言ったと書いてある。このトマスがどのように変わっていったか、大いに興味のあることである。

八日の後、弟子たちは人を恐れて戸を閉じていた、トマスもその中にいた。イエスが現れてトマスに「あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。また、あなたの手を伸ばして、私の脇腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい」と言われた。ヨハネの福音書の復活物語の最後を飾るこの物語に平行記事はない。他の福音書も弟子の疑いを報じているが、ヨハネはそれらとは違った仕方で弟子たちの懐疑の問題と対決してこれを克服している。ここではイエスはただトマスとだけ話している。イエスの復活の事実とその人物の素性を確かめたいとの願いを、トマスはこの大事な時に臨んで実行に移すことができない。トマスは自分の不信を遙かに乗り越えたイエスの出現に圧倒されて、ただ「我が主よ我が神よ」と言って賛美・礼拝することしか出来ず、イエスの<身体検査>を放棄した。こうしてトマスはいわばヨハネ共同体「この福音書を奉じるキリスト者の群れ」を代表してイエスが神であり、復活した主であることを、告白しているのである。しかし、ヨハネはこのトマスの信仰に全面的な評価を与えていない。「イエスは言われた。『私を見たから信じたのか。見ないのに信じる人は幸いである』と」(ヨハネ20:29)。トマスの復活信仰は彼が頑なに求めた復活の主の<感覚的>な出現の結果である。復活した神の出現は確かに一つの奇跡である。そしてこの奇跡は疑っているトマスに与えられはするが、それは最後の例外であり、おまけに、弱い、疑い深い者のためのものである。それはむしろ、復活された主の一時的な出現に対する告白である。真の復活信仰はこのような奇跡のしるしを必要としないのである。

(単立函館栄光教会牧師)

〈四十年の恵み〉 日本アシラムの歩み(11)

海老澤宣道

◆今治教会から近江八幡へ

榎本師が今治教会中心にアシラムを続けられる間、毎年百名以上の参加者を歓迎し、宿泊食事の世話まで負担することは、教会の重荷となつて来たよう、同師は有志の協力を得て近江八幡市に大きな邸宅と敷地を手、そこを修道場とし、組織名をアシラム・センターとして、全国的な集会を開くと共に、各地からの参加者中から有志を世話人として、各地に教職奉仕者を送って指導を頼み、毎月数ヶ所年間には数十ヶ所を守られるようになった。その他に年頭(一般)、教職、青年、高校生を対象とした特別アシラムも盛んに計画し、台湾、韓国、米国加州にも奉仕するようになっていた。

◆日本アシラムの特色

私共日本連盟はこれに加盟している各地区アシラム委員会の自主、独立、自給の方針で、全計画を進めることにし、全国の参加者からは一切の献金を集めず、地区委員会の自由負担だけを受けて事務費に当て、連盟本部が中央から指導する形を取らないため、派手な活動がなされてない。従って連盟関係のアシラム

の手の及ばない所を、近江センター関係が補うと言う以上に、むしろ活発に促進されていることを感謝したい。

連盟系の地区委員には、個人崇拜の危険に陥ることなきよう願いつつも、世界アシラムの創始者は故スタンレー・ジョーンズ博士であり、その信仰思想とアシラムの五大原則から余りに逸脱しては、創始者の祈りに沿わない故に、博士の著書を熟読し、出来る限り翻訳出版の事業を継続しようと心がけてきた。

ジョーンズ博士来日最後の全国伝道中に日本アシラムは関東地区が(一九七一年)第十回を天城山荘で開催したことを前号で述べたが、他の七地区でも開催した。

- 10月7日函館(白川、植村)五〇名
- 14日東北(村上、高橋)六四名
- 19日関東(横山、満丸)二五〇名
- 27日中部(原田、内村)
- 11月2日関西(中路、辻中)一九〇名
- 10日広島(谷本、植竹)一〇八名
- 15日四国(宇都宮、黒田)一〇一名

22日九州(山本、鍋倉)七一名
以上八地区では博士が帰米して倒れられたあとも委員同志の相互応援により、年一回は開催するように申し合わせた。

◆第一回世界アシラム大会

博士は倒れても予定の右大会をせひエルサレムで開催したいと希望され、一九七二年六月二十五日から五日間、YMのホールで十数ヶ国から三二五名程の参加者を迎えて盛大に守られた。博士は米国から車椅子で出席、開会礼拝で息切れ乍ら一時間の説教と挨拶をされた。日本代表で参加した中路副理事長によれば、感動的で聖者の風格に打たれた。最後に「私の時は終わった。この事業は諸兄弟の手に委ねられる。これを更に世界的運動へと発展される力は主が皆に与えられることを信じて安んずる。イエスは主なり。」と語られた。その五日間のアシラム閉会後、聖地の各地を巡礼し、ガリラヤ湖畔で中路師の司会で聖餐式を守り、閉会、各国へ帰って行った。

黙想

『主を畏れる人の生活』

香里教会牧師 杉田常夫

いかに幸いなことか
主を畏れる人
主の戒めを深く愛する人は。

詩編は旧約聖書の中で、最も多くの人に親しまれている書物の一つです。ある人は詩編を、魂の解剖図と呼びました。そこに嘆き、悲しみ、喜び、感謝する人々の赤裸々な姿を見ることが出来ます。そして、信仰者とはどのような神の恵みに与る人なのかを教えられます。

詩編一一二編は、直前の詩篇と同様に、各行のはじめの言葉が、ヘブライ語のアルファベット順に並べられています。それはこれらの詩編を、覚えやすくする工夫であります。聖書は注意深く何度も反復して朗読し、歌うことによって記憶に留められたのです。

直前の詩編の終わりに、「主を畏れることは知恵の初め」と歌われました。これは箴言の教えの基本です。この教えが詩篇一一二編でも継続して取り上げられ、「主を畏れる人」

アシラム生活最良の友 アパ・ルーム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、靈的な読物

価300円、〒90円、年2,340円(〒共)

3ヶ年分個人予約注文は5,400円(〒除く)

申込先 ☎256-0812 小田原市国府津3-11

振替口座 00110-7-193834 アパ・ルーム

電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来48年続行中

はいかに幸いであるかを教えています。

世の多くの人々は要領よく賢く立ち回るなら、成功して幸せになれると考えています。主を畏れていたら、商売も事業も成り立たないと言います。果たしてそうでしょうか。バブルの時期に本業を忘れて財テクに走り、危機に直面している会社や個人がたくさん出ました。

主を畏れる人とは、いたずらに恐怖することではありません。主を畏れる人とは、主の戒めを深く愛する人と言ひ換えられています。主の戒めを嫌ったり、敬遠する人は主を畏れていない人です。たとえ愚か者と言われようとも、主の戒めを喜んで守ろうとする人こそ幸いなのです。

主イエスは、「わたしの掟を受け入れ、それを守る人は、わたしを愛する者である。わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、その人にわたし自身を現す。」(ヨハネ14・21)と教えられました。

すべての人は生活の根底に、主を畏れるということがなければ、危険がいっぱいあります。悪を行う者は一時的に栄えても、結局は貧しく不幸になります。もちろん例外はありますが、例外をとらえて「正しい者が栄え、悪を行う者が不幸になる」

という教えを、否定するのは愚かなことです。

主を畏れる人の幸いは、その家族や子孫にまで及びます。「彼の子孫はこの地で勇士となり、祝福されたまっすぐな人々の世代となる」と言われています。「勇士」という言葉は、有力者という意味もあります。熱心なキリスト者が多くの祝福を受け、なすところすべてが成功する例は決して少なくありません。「彼の家には多くの富があり、彼の善い業は永遠に堪える」。

しかし、善良で信仰深い人が飢え、暮らしに困るのはなぜでしょうか。それは彼にとつて、富むことが必ずしも益にならないからです。どんな人は、全世界を手に入れても満足することがありません。他方、少ししか持たなくても感謝し、満足している人もあります。

「まっすぐな人には闇の中にも光が昇る。憐れみに富み、情け深く、正しい光が」と歌われています。まっすぐな人は、たとえ黒雲に包まれることがあっても、太陽は雲の上で輝いているように、「憐れみに富み、情け深く、正しい光が」昇るのです。夜の暗さが深まるとき、夜明けが近づいています。主はそのしもべらに忍耐を教え、苦しみに代えてよい時を与えられます。「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召され

た者たちには、万事が益となるように共に働く」(ローマ8・28)のを、わたしたちは知っています。

関西地区アシラム案内

- ▼第33回関西アシラム予定
 - 日時 99年10月10日〜11日
 - 会場 国際交流セミナーハウス (詳細は進行中です。)

九州地区アシラム案内

- ▼第34回九州アシラム予定
 - 日時 99年11月23日〜24日
 - 会場 福岡黙想の家
 - 助言者 連盟理事長 大石嗣郎師

関東地区アシラム案内

- ▼第37回関東アシラム予定
 - 日時 99年9月22日〜24日
 - 会場 山崎製パン箱根山荘
 - 助言者 日本基督教団更生教会 原田 謙 師

▼第30回城北アシラム報告

- 日時 99年2月11日
- 会場 日本基督教団新宿西教会
- 主題 『戸の外に立って叩くキリスト』

東京03-7001-1455八
理事長 大石 嗣郎
編集人 有馬 敏弘
定価 一部60円 千80円

▼聖ヨハネによる福音書

D・P・タイトラス著 海老沢 飯島共訳
価一、二〇〇円 千二四〇円

▼御国を来らせ給え

D・P・タイトラス著 植村俊雄訳
価三〇〇円 千九〇円

▼インド途上のキリスト

一九八六年一月改定版
E・S・ジョーンズ著新訳者 湖江淳一
価一、九〇〇円 千三六〇円

▼アシラムの原則と実際

海老沢宣道 著 第三版
新書版五二頁三〇〇円 千九〇円

日本アシラム四十年記念出版

▼いかに祈るか

今世紀最大の世界的宣教師
スタンレー・ジョーンズ博士著
白川 鄭二 飯島庸江共訳

祈りの人スタンレーが祈りとは何か、祈りの段階と方法と実例を親切に教えている好著。

◆教会その他の祈祷会で用ゆるのに最適の好テキスト

新書判七〇頁

定価六〇〇円 千一九〇円

発行所 日本クリスチャン・アシラム連盟

振替口座 〇〇〇〇〇一四五五八

ヨハネ黙示録3章20節

・助言者 連盟理事長 大石嗣郎師

他

・共催 池の上キリスト教会

更生教会、天門教会

新宿西教会

・参加者 六七名

《参加者の声》

「静聴」

新宿西教会伝道師

河合悦子

城北アシュラムは、池の上教会、更生教会、天門教会、新宿西教会の四つの教会が中心になって、一年一回(2月11日)、当番教会において開催されています。準備祈禱会を各月に持ち、主題や助言者などが決められ、待ち臨みます。

アシュラムの五大原則である、静心・静聴・充滿・献身・伝道、その一つ一つ、どれもが真に恵みに満ちたものですが、特に静聴の時は最も神様に近づき、神様の御旨を知ることの喜びを感じる時です。

聖書を聞き、神の言葉を聴き、静かに黙想します。少年サムエルは主の神殿に寝ていた時、自分の名が呼ばれるのを聴いて「しもべは聞きませぬ。お話しください」(サムエル上3・1、10)と答えました。神はご自分を畏れる者に自由に語られます。静聴する時、私は次のことを指針

としています。①その章句自体は何を言っているのか。②神・キリスト・聖霊はどのような方であるのか。③私は何者か。自分にはどのような欠け目や必要があるのか。④私に対する励まし、慰めは何であるのか。⑤神は今日、私に何を命じておられるのか……などです。

フォーサイスの「祈りの精神」には、祈りとは、まず、神様の方から、主イエス・キリストの方から、聖霊みずからが、私達人間のためにとりなし続けて下さることに對する人間の側からの応答である」と言っております。「わたしたちはどう祈ったらいよいよかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである」(ローマ8・26)。このみ言葉どおり、私達の内にいらっしやる、復活の主が私達のためにとりなし続けてくださるのであるのです。私達のすべてをご存知で最善をなしてくださるのです。

「切なるうめきをもって」とは、うめく程に私達を愛してくださっているということ。このように、ひたすら神様からの静かなみ声を待ち続けて瞑想しておりますと、み言葉によって霊の目が豊かに開かれ「我ならぬ我」が現れてきて「これこそが神の御旨である」と確信できるのです。それは最初に祈った「こうし

て下さい、ああして下さい」というような自己中心的な願望を押しつける祈りではなく、「キリスト・イエスに属する者は、自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまつたのである。」(ガラテヤ5・24)のように聖霊によって自我が砕かれ聖められ、み言葉に聴従することの喜びを与えてくれます。

主イエスも「父よ、み心でしたらこの苦い杯を私からとりのぞいて下さい」と血の汗を流したたせながら祈り、最後は、「御旨がなりますように」と徹底的に父なる神に従いました。主に従うということは真に厳しい道ですが、主がすでに私達の先を歩まれ、十字架において、すべてを成就してくださったことを思う時に、私もまた「喜んで主に従っていきたい」という思いを起こされます。神様の思いは、私達の思いをはるかに越えて恵み溢れるものです。父なる神様はまずご自分の方から最愛の御ひとり子を人類に賜わるといって「最大の献身」をなさってくださいましたので、私達もまた、御霊に強められ、励まされて「献身」の生涯を全うしたいと願います。そのために日々「静聴」の時間を守り、神様の御声を聴き続けてまいります。



第30回城北アシュラム

連絡先

〒一六〇一〇〇二一

新宿区歌舞伎町2-19-11

日本基督教団 新宿西教会

有馬歳弘 宛

☎03-3200-5559

FAX 03-3207-6866